

取水施設

取水施設は、河川、ダム、湖沼等の地表水や地下水などの水源から、需要に応じて良質な原水を安定して取り入れるため設置されている施設です。春日井市では、市内に深井戸を掘りポンプで汲み上げた原水を浄水施設に導水する施設と、県営水道で浄化された水を直接受水する施設があります。

県水受水施設

昭和40年代から土地区画整理事業が各地区で施行され、宅地の供給が行われるようになりました。都市化に伴って、地下水による自己水源だけでは十分な供給ができなくなってきたことから、木曾川総合用水（尾張水道用水）から愛知県営水道で浄化された水の供給を受けるため、県水受水ポンプ場を整備し、昭和49年2月から受水を開始しました。

主な施設

廻間第5水源

自己水源

市内には17か所に深井戸

施設の概要

- ① 所在地 春日井市藤山台
- ② 稼動開始 昭和47年7月
- ③ 井戸の規模 口径250mm 深さ 130m
- ④ ポンプ設備 水中モーターポンプ
1.3m³/min×62m 1台
- ⑤ 取水量 690m³/日(平成17年度実績)

県水受水ポンプ場(受水による水源)

施設の概要

- ① 所在地 春日井市桃山町
- ② 稼動開始 昭和49年2月
- ③ 受水池容量 2,000m³
- ④ 認可受水量 98,700m³/日
- ⑤ 送水ポンプ設備 12.5m³/min×16.5m 2台
25.0m³/min×17.0m 5台
- ⑥ 自家用発電機設備 6,600V 750KVA



県水受水ポンプ場 送水ポンプ室



廻間第5水源